

さいかい
災害とふきのとう

はじめに

30年前の阪神淡路大震災・14年前の東日本大震災をはじめ日本列島いたるところで震災に見舞われています。2024年1月1日の能登半島地震は記憶に新しいところです。私たちの住む奈良においても1300年動いてない「奈良盆地とうえんだんそうたい東縁断層帯」がいつ動いてもおかしくないと

げんじょうほうこく
現状報告

- 業務継続計画＜BCP＞令和6年3月15日作成
- 令和7年1月15日 非常災害時のチーム備蓄リスト検討会議開催 会議内容 職員を3チームに分けチームチーフを決め優先的に緊急に準備するものをリストアップ並びに購入予定等を検討した。（A班医療関係 B班食糧関係 C班防災全般）
- 令和7年3月 非常災害用備蓄倉庫購入
- 令和7年4月 ポリタンクの購入（30名対応3日間 生活用水保管用）

こんご しんしせつ きんきゅういちじ ひなんじょ
今後新施設を緊急一時避難所に

新施設が緊急一時避難所として活用できるための設備整備を計画しています。

- 避難スペースの確保 50～70人の避難が可能です。床暖房を設置しており、冬の暖房として利用します。
- 自家発電機の設置 停電時に起こる事故を可能な限り回避します。在宅の医療的ケア児者の方へも提供したいと想定しています。継続運転時間は限られています。
- 受水槽の設置 断水時の飲料水・生活水の確保のため水道本管と施設との間に受水槽を設けて一定量の水を貯めます。
- 太陽光パネル 停電時の対策として2階屋根の東面に太陽光パネルを設置して建物全体の電力を賄います。
- その他 備蓄倉庫・災害時優先電話の設置

われています。又「南海トラフ巨大地震」は、今後30年間で70%の発生率と言われています。

これらの事を踏まえ、ふきのとうでも「大規模災害 地震・水害」の「業務継続計画」を作成してきました。その現状報告と新施設建設に当たり「災害を想定した施設作り」に取り組んでいることを報告したいと思います。



一九八四年八月二〇日 第三種郵便物承認 毎月（二・二・三・四・五・六の日）発行



「ふきのとう」との出会い

私は昨年末に傘寿を迎え80歳の台大に到達しました。若い頃に今の私と同じ位のお年寄りを見て、なんと達者なお年寄りなんだろうと思ったことでした。

そんな自分が80歳になった今、今の若い人にどのように見られているのだろうかと思うことが度々あります。これまでの人生経験だけを頼りに人の意見も聞かず独りよがりになっていないか、集団の中ではみんなと協調することを軽んじてはいないか、異なる意見の人を排除しようとしていないか。等々常日頃自分に言い聞かせながら残りの人生を過ごしたいと思っています。



さて本題です。

私と社会福祉法人「ふきのとう」との出会いには18年前の平成19年10月です。その時の私は、2年前に役所を定年退職し、5年契約で再任用職員として同じ役所に勤務していました。

そんなある日、理事長と所長から「相談したいことがあるので会ってもらえないか」と電話があり、別段予定もなかったので精華町内のスーパーの喫茶店で会うことにしました。理事長は、「今障害者支援の活動をしているが、一層の活動発展のために法人化を目指している。ついては理事になってもらえないか」と切り出しました。何の前触れもなくいきなりの要請だったので、びっくり仰天どう返答し

しゃかいふくしほうじん
社会福祉法人ふきのとう 理事 森川 政利

てよいのかわからずその日は返事を保留にして別れました。

その後数回会合を重ねました。回を重ねるごとに二人の障害者支援活動に対する情熱がただ者ではないことがひしひし感じられるようになりました。私自身当時は（今もそうですが）障害者という言葉は知っていましたが、知識と経験は皆無で何の役にも立たないのではと逡巡を繰り返し、返答を渋っていました。しかし未経験と無知を理由に要請を拒めば、二人の大きな夢をたち切ることに成り兼ねないことにも気が付きました。

そして役に立つ自信はないけど「枯れ木も山の賑わい」でよければと二人の要請に応じることになった次第です。因みに理事長と私は、小学校の同級生でありまして、同級生のたってのお願いを無下に断れなかったのも事実です。

法人設立当時の状況を現在から振り返ってみると、その変貌・変化の大きさに驚きます。設立時は本館と数カ所のグループホームだけだった施設は、今ではスパークル、スパークル2、サントアース、サントアース2と規模を拡大、メンバーさんとそれを支えるスタッフも大きくなっています。そして今年から新たな施設建設の工事が始まりました。

6月12日には地鎮祭が盛大に執り行われ「ふきのとう」次の飛躍への第一歩が開始されました。来年の2月末には施設完成予定です。新しい施設がこれからの「ふきのとう」の一層の発展に大きく寄与することは間違いのないでしょう。

編集人 社会福祉法人ふきのとう ふきのとう便り編集委員会
連絡先 〒632-0052 奈良県天理市柳本町 2036 番地 1 TEL 0743-67-1099 FAX 0743-84-7738
HP <http://www.fukinotou.or.jp/>
E-Mail fukinotou1099@fukinotou.or.jp
発行人 関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015 大阪府大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4F

定価：10 円

ふきのとうの動き

令和7年

2月27日 授産商品販売会出店
3月19日 ホワイトデーイベント
26日 蒸気機関車整備

4月3日 花見・お出かけイベント
5月30日 BBQ
6月12日 新施設建設予定地地鎮祭

奈良県庁授産商品販売会参加

今年も県庁で授産品を販売する、授産商品販売会の事業（毎年行われ、月1回奈良県庁内で県内の2～3事業所が販売）が開催され、2月27日にはふきのとうも参加しました。

ふきのとうからは「菓子工房マカロン」謹製のお菓子や手作りみそ等を販売、いつも大好評で「かわいいラッピング!」「去年これ美味しかったー。」とうれしい声もいただき、用意していたお菓子は「完売」し、メンバーもとても喜んでいました。



令和7年2月27日

ホワイトデーイベント

今年は皆が大好きなハンバーガーとポテトの昼食をスタッフさんが作ってくれました。

みんな「おいしい〜♪」と、満面の笑顔で喜んでいました。後半は各班に分かれて外出し、道の駅やカフェなどに出向いて楽しい時間を過ごすことができました。



令和7年3月19日



2025年月毎壁面



4月



6月

お花見・お出かけイベント



BBQ イベント

天気予報では大雨でしたが、当日は晴れてスムーズに準備が出来ました。

まずは皆、おにぎり・焼きそば・設定・内職に分かれて準備作業を行いました。2年ぶりで勝手を忘れていたところもありましたが、無事作業を終了、本番を迎えました。

U字溝に網を乗せたコンロにお肉を「これでもか!!」と思うほどのせて焼きます。メンバーさん皆お肉が大好きで、「おなかいっぱいやー!」という言葉と笑顔が見れました。



新施設建設予定地地鎮祭

ふきのとうでは、新たに「社会福祉法人ふきのとう（仮称）障害者複合施設」を来年2月の竣工を目指して建設予定で、6月12日には建設予定地の地鎮祭を執り行いました。

前日は雨で当日も天候が心配されましたが、ふきのとう理事・職員・建設会社の職員が神主の主導のもと、式次第に従って粛々と進められ、建設期間中の安全を祈りました。



令和7年6月12日